

令和４年度 茨城県高等学校剣道新人大会 兼
第 32 回 全国高等学校剣道選抜大会茨城県予選会
要 項

- 1 主 催 茨城県高等学校体育連盟 茨城県教育委員会
- 2 主 管 茨城県高等学校体育連盟剣道専門部
- 3 日 時 令和５年１月２０日（金） 男女個人 開会９時３０分
令和５年１月２６日（木） 男子団体 開会９時３０分
令和５年１月２７日（金） 女子団体 開会９時３０分
- 4 会 場 男女個人 石岡市運動公園体育館 石岡市南台 3-34-1 TEL 0299-26-7210
男女団体 茨城県武道館 水戸市新原 2-11-1 TEL 029-251-8444
- 5 試合規定 (公財) 全日本剣道連盟の主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドラインによる。
(公財) 全日本剣道連盟の「剣道試合・審判規則・細則」による。
(公財) 全国高体連剣道専門部申し合わせ事項による。
- 6 試合方法 **個人戦**
(１) トーナメント方式とする。
(２) 試合時間は４分、延長戦の試合時間は４分とする。延長戦が継続する場合は、延長戦２回ごとに「深呼吸」「給水」の休息・休憩を繰り返す。
- 団体戦**
(１) トーナメント方式とする。
(２) 試合時間は、４分・引き分けとする。
(３) 登録選手によるオーダーの変更は試合ごとに認める。掲示用名表は、試合ごとに各試合場審判主任へ前の試合の次鋒戦終了時まで提出する。
(４) 試合結果は、勝者数、得本数とし、同点同本数の場合は代表者戦により決定する。
(代表者戦は、１本勝負。代表者は当該試合に出場した５人の中の任意の者とする。試合時間は４分、延長戦の試合時間は４分とする。延長戦が継続する場合は、延長戦２回ごとに「深呼吸」「給水」の休息・休憩を繰り返す。)
(５) 全国高等学校剣道選抜大会の出場校が２校となった場合は、出場校決定戦を行う。
- 7 参加資格 (１) 参加者は茨城県高体連に加盟している学校及び個人登録している生徒であること。
(２) 年齢は平成 16 年 4 月 2 日以降に生まれたものとする。
(３) 転校後 6 ヶ月未満の者は参加を認めない。但し、一家転住等やむを得ない場合は、この限りではない。
(４) チーム編成においては、全日制・定時制・通信制の生徒による混成は認めない。

8 参加制限

個人戦

各学校男女各2名以内（団体戦出場者と兼ねてもよい。）と推薦選手
推薦選手・・・以下の3項目のいずれかに該当する者

- ①当該年度関東大会予選個人の部でベスト8以上に進出。
- ②当該年度全国大会予選個人の部でベスト8以上に進出。
- ③当該年度国体選手。

団体戦

男子・女子共に1チーム編成は、監督1名、選手7名の計8名とする。〔但し、団体戦
3名（先・中・大）、4名（先・中・副・大）でも1チーム編成として出場を認める。〕

9 表彰

団体・個人ともに1位～3位を表彰する。団体1位のチームに愛知県春日井市で開催される
第32回全国高等学校剣道選抜大会への出場権を与える。また、全国高等学校剣道選抜大会の
出場校が2校となった場合は、出場校決定戦に勝利したチームにも出場権を与える。

10 申込み

- （1）所定の申込用紙を高体連からダウンロードし、電子メールの添付ファイルにて各地区アドレ
スに送信する。尚、団体戦において、掲示用名表は当日の朝、受付時に提出する。
- （2）〆切 1月13日（金）17:00

11 大会運営補助徴収金

「大会運営補助徴収金」として、各校男女別に2、000円を徴収し、個人戦のみの参加校に
ついては、選手1名につき200円を徴収する。それぞれ、大会当日の朝、受付で徴収する。

12 連絡・注意事項

- （1）参加選手は健康であって、学校長の承認を必要とする。
- （2）本大会感染拡大予防ガイドラインに従い実施する。
- （3）試合運営方法については、（公財）全日本剣道連盟の「剣道試合・審判運営要領」によって実
施する。
- （4）剣道用具確認証の提出については、大会申込書提出時に確認欄への記入をもってこれに充て
る。
- （5）（公財）全日本剣道連盟の剣道用具安全基準の検査要領に基づき、竹刀の検査検量を実施する。
検査検量で不合格となった竹刀は使用しない。竹刀検量の終了時刻は開会式15分前とする。
（感染症拡大防止対策の為、竹刀検量を行わない場合、竹刀点検は事前に各校で行い、剣道
試合規則・審判細則で定める基準を満たすものを使用することとする。）
- （6）選手は前垂に黒または紺色の布地（白字以外は禁止）で学校名と姓を明記した名札を付ける
こと。（名札のない選手は、出場できない。）
- （7）紅白の目印は幅5cm、長さ70cm以内とする。
- （8）面紐は後ろに垂れる長さを40cm以内とする。
- （9）前回優勝校男子水戸葵陵、女子守谷は優勝旗を返還する。
- （10）開会式の選手宣誓について、団体戦は勝ち抜き大会1部優勝校代表者、個人戦は女子第1シ
ードの選手とする。